

コロナ禍で守りたいもの、できること アンケート結果

令和3年3月19日（金）19時30分～21時 オンライン開催

①職種

介護支援専門員	7
看護師	5
リハビリ職	4
社会福祉士	3
医師	2
介護福祉士	1
事務職	1
精神保健福祉士	1

②研修の内容はいかがでしたか？

良い 24

③内容についてのご意見（順不同、原文ママ）

・これからもコロナに気を付ける日々は続くでしょうが、しっかり感染対策をして訪問看護を行っていきたいと思います。

・コロナの対策について学びになりました

・井口さんのお話で、感染対策を振り返ることができました。

中島さんのお話は先日の若年性認知症県民公開講座でもお聞きしましたが、男性介護者のご苦勞がよくわかりました。自分に万が一のことがあることを想定して奥様の介護をされてらいいのではないのでしょうか。

・井口さんの感染対策しながらできることもあるという部分に共感しました。

・介護者さんの不安、知ることができました。

・感染が少しでも早く終息するように、医療・介護関係者、中島さん始め、患者さん本人やその介護者の方が安心して生活できるようになりますように。

・感染防御の実際と、コロナ禍での介護にかかる不安について生の声が聞けてよかった。

・在宅で介護しておられる方の不安や覚悟をお聞きでき、安心できる環境が整う事ができる事を願います。

・在宅で介護しておられる方の不安や覚悟をお聞きでき、安心できる環境が整う事ができる事を願います。

・在宅で介護しておられる方の不安や覚悟をお聞きでき、安心できる環境が整う事ができる事を願います。

- ・実際に介護されている家族視点でのお話を聞くことができ良かったです
- ・男性介護者の生の声を聞くことができた、コロナ禍の対応について再確認できた
- ・中島さんのお話、おそらく私たちケア提供者にも共通して大切であると思われることをたくさん教えていただきました。ありがとうございました。
- ・中島さんのお話しに感動しました考えさせられました
- ・中島さんのお話は、とてもところに響きました。
- ・中島さんの話がズンと響きました。
- ・中嶋さんの話がとても響きました。介護の中にも苦悩や喜びを感じられました。
- ・濃厚接触者を預かってくれるところがないといったことにも、できる事から攻めの姿勢でやれる事をやっていくとの言葉が想いに沿っていると感じた。

④今後の参考になることがありましたか？

大いにあった	16
少しあった	8

⑤どのような点が参考になりましたか？（順不同、原文ママ）

- ・コロナを発症した場合の課題については若年性認知症の方、高齢者だけでなく子供にも言えることではないかとおもいました。
- ・コロナ禍でも、どこを工夫したら笑顔が持てる時間を作れるのか考えることの大切さを真面目に仲間に向けてみたい。介護者の思いも組んだ対応に関心を持つことが大切だと思いました。
- ・ご家族の話が、とても気持ちがわかり、コロナウイルスにおける介護の悩みを切実に感じ、参考になりました
- ・できることをする。
- ・できる事を増やしていく事が攻めの感染対策
- ・介護は大切な人生の一部、心に残るメッセージとして受け止めました。
- ・介護者が入院した時に認知症の家族も一緒に入院できたとのこと。介護者の治療内容にもよるかもしれませんが、できたら理想ですね。受け入れる病院側の理解がありがたいです。
- ・希望を求めていくことは、大切であることを改めて学びました
- ・高齢者施設における感染症対策の方法
- ・在宅や施設のなかでの、コロナ対策の例
- ・自分が介護者になるヒントがたくさんありました。
- ・男性介護者の生の声を聞くことができた、コロナ禍の対応について再確認できた

⑥オンラインでの参加はいかがでしたか？

良い	23
まあまあ良い	1

⑦オンラインでの開催について近い意見全てを選んでください。(複数回答)

移動時間がなくて良かった	22
感染のリスクを下げて学べて良かった	20
慣れていなくて戸惑った	1

⑧ご意見・ご感想・研修会の希望など

・zoom の場合、資料がないので残念…資料が頂けるのであれば、例えばギガファイルなどを活用して資料のダウンロードが出来ると、嬉しい。

とくに、井口さんの資料はあと今後に活かしていけると思います

ご家族の物はプライバシーの問題もあると思うので、難しいと思いますが…

・今後ともよろしく願いいたします。

・今後も持続、発展して行ってほしい。

・資料など聞いてメモをするけれど追いつかない。残念

・中島さんの奥様への愛が素晴らしかったです。奥様は幸せだと思います。

ありがとうございました